



10月29日撮影

温かいスープでおもてなし ～ダイヤモンド筑波～

「ダイヤモンド筑波」を見るために約1,200人が母子島遊水地を訪れました。10月28日には、筑西市活性化プロジェクト「ちくくタグ」が、温かいスープパスタを振る舞ったほか、(株)布屋（日本マクドナルドフランチャイジー）の缶コーヒー提供や農産物の販売、あけの元気館の入場券の配布などが行われ、来場者をもてなしました。



ご当地グルメを堪能す る～やっぺえ開催～

筑西広域圏（結城市・筑西市・桜川市）の魅力を、見て食べて存分に堪能してもらおうと、11月4日、県西総合公園で、筑西広域イベント「やっぺえ」^{いとかわひで き}（糸川秀樹実行委員長）が開催されました。このイベントは、秋の恒例イベントとして、今年で20年目を迎え、地元グルメや物産品の販売、餅まきなどを楽しみに多くの来場者でにぎわいました。



個性的なカートで疾走！ ボックスカートグランプリ

10月21日、市役所下館庁舎前で、(公社)下館青年会議所（齋藤聡理事長）主催による「筑西桜川ボックスカートグランプリ」が開催されました。参加した13組が、手押しカートのスピードやデザイン、パフォーマンスを競い、約80メートルのコースを駆け抜けました。ヒノキをイメージした桜川市の丸川木材（株）チームが初代グランプリに輝きました。



地元グルメを片手に 大迫力の大道芸を楽しむ

10月21日、下館駅南口のカスミ下館店前を歩行者天国にして、「さくらハロウィンビールフェス」が開催されました。軽トラ市から発展したビールフェスには、多数の飲食店が出店し、来場者はビールを片手に筑西焼きそばなどの地元グルメを楽しみました。また、大道芸人やジャンケン大会、ライブなどが行われ、家族連れで、活気にあふれていました。



精密な鉄道ジオラマに 興味津々！！

10月21日、鉄道の利用促進と駅前のにぎわい創出を目的に、「第7回下館駅なか・駅まえフェスティバル」が、下館駅構内とその周辺で開催されました。

会場では、下館一高吹奏楽部の演奏やミニトレインの運行、鉄道ジオラマの展示、人力車の走行などが行われ、訪れた家族連れや鉄道ファンでにぎわいました。



練習の成果を発揮し 自転車競技大会で入賞

10月25日、ひたちなか市総合体育館で、自転車の安全な乗り方を競う「第16回交通安全高齢者自転車競技茨城県大会」が開催され、五所地区高齢者チーム（筑西 五所 GOS）が団体の部準優勝に輝きました。

【選手紹介（50音順 敬称略）】

- | | |
|---------|----------|
| ① 小林勝夫 | ② 高橋明夫 |
| ③ 出羽ふみ子 | ④ 百目鬼喜代子 |
| ⑤ 野口勝美 | ⑥ 野口幡之 |



まっすぐで思いやりのある心を持って 報徳壹圓塾が小中学校に二宮金次郎像を設置

報徳壹圓塾（小石川功塾長）のみなさんが、市内27小中学校のうち像が設置されていない18校に二宮金次郎像を設置しました。これは、二宮尊徳の偉業とその思想を後世に伝えようと、住民参加型まちづくりファンド事業を活用し、実施したものです。

来年11月には、毎年尊徳ゆかりの地で開催している「全国報徳サミット」が筑西市で開催されます。



家族連れでにぎわう 関城商工まつり

11月3日、ペアーノで、筑西市商工会（大畑良雄会長）主催の「関城商工まつり」が開催されました。

会場では、地元物産の販売や抽選会、ちくせい観光大使オリジナルソングの披露、イバライガーとの握手会のほか、歌謡ショーやダンス発表、おはやし演奏などが行われ、訪れた多くの家族連れが、楽しいひとときを過ごしました。



市内の中学生が高梁市の中学生と交流

今年7月の西日本豪雨災害により、友好都市・岡山県高梁市が被災したことを受けて、市内の中学生生徒会が運営している「筑西ジュニア虹色ネットワーク」では、被災した6校の中学校に向けて、励ましの手紙を送りました。それに対して、高梁市立成羽中学校の生徒会から、お礼とこれを機に交流を深めていきたいとの手紙が届きました。



郷土の歴史にふれる 伊讃美ふれあい秋祭り

11月4日、川島小学校で伊讃美自治会（堀江久男会長）主催の「第34回伊讃美ふれあい秋祭り」が開催されました。今年は、明治天皇による観兵式から110年、伊讃美の耕地区画整備事業から100周年を記念し、郷土の歴史について理解を深めようと郷土史家の桐原光明氏を講師に招いて講演会が行われ、参加した住民は、郷土の歴史に思いをはせました。